

平成30年7月27日

第四管区海上保安本部

広報資料

【広報案件】

- ・「第147回水路記念日 企画展」を実施します！

【お知らせ】

- ・ イベント中止のお知らせ
JETTYにおいて特別展示を実施します
釣りインストラクターに対する救命胴衣着用効果体験
- ・ 平成30年6月の船舶海難・人身海難発生状況（速報）

【問い合わせ先】
海洋情報部監理課
監理課長 高橋 渡
電話 052-661-1611（内線 2510）



平成 30 年 7 月 27 日
第四管区海上保安本部

「第 147 回水路記念日 企画展」を実施します！

第四管区海上保安本部では、9月12日に水路記念日を迎えることから、8月24日（金）～27日（月）に「イオンモール名古屋みなと（名古屋市港区）」において「第147回水路記念日 企画展」を実施します。

1 日時

平成 30 年 8 月 24 日（金）13:00～17:00、25 日（土）10:00～17:00
26 日（日）10:00～17:00、27 日（月）10:00～12:00

2 場所

イオンモール名古屋みなと スプリングコート
名古屋市港区品川町 2-1-6

3 内容

海上保安制度創設 70 周年を迎え、海図から見た戦後及び現在の愛知・三重県の港の変遷を紹介します。また、灯台 150 周年を迎え、明治初期の参考として伊能大図も展示します。そのほか、海上保安庁海洋情報部（旧水路部を含む。）を紹介する展示等も行います。

- ・戦後及び現在の愛知県・三重県の海図（複写）
- ・伊能大図彩色図（国土地理院提供）
- ・3D 海底地形図
- ・津波シミュレーションマップ
- ・海洋情報業務紹介パネル 等

また、25 日及び 26 日は、海上保安庁イメージキャラクター「うみまる」が登場します。

4 取材の申し込み

現地取材を希望される社は、取材予定日の前日までに、上記問い合わせ先までご連絡下さい。



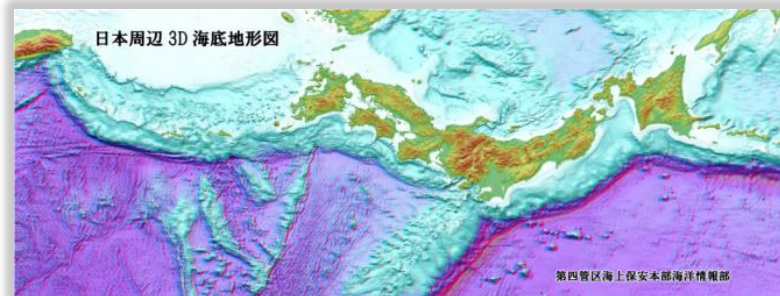
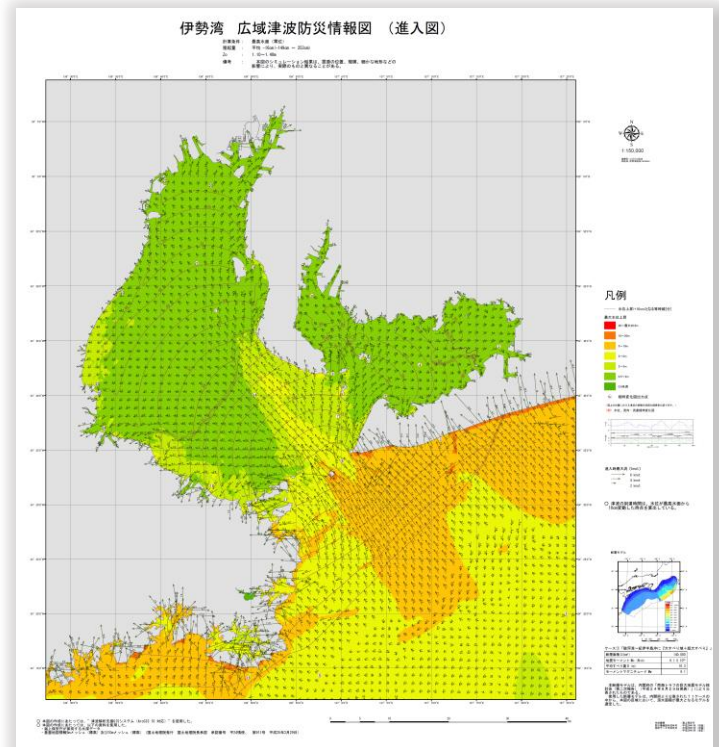
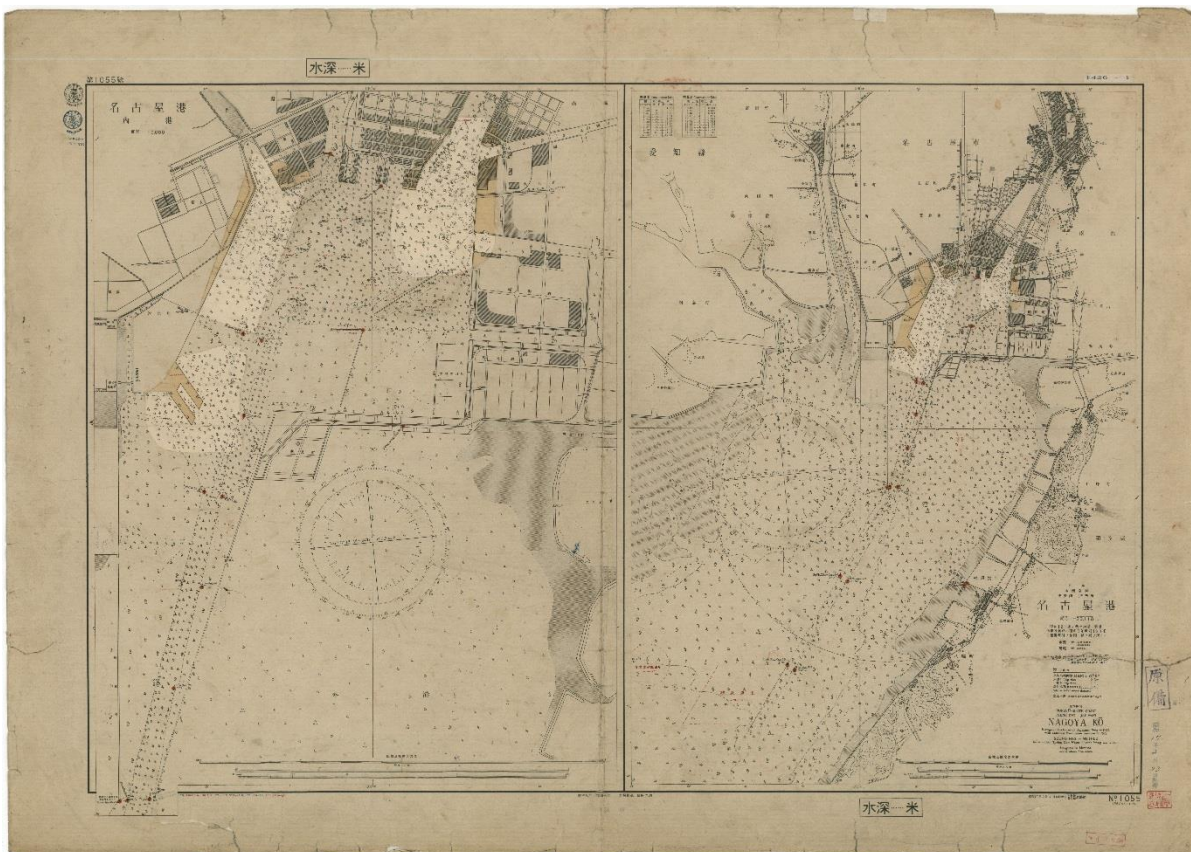
海上保安制度創設70周年



海図でめぐる戦後及び現在の の愛知・三重県の港の変遷

海上保安制度創設70周年

戦後の名古屋港の海図
(海図 第1055号 名古屋港)



展示期間 平成30年8月24日(金)午後～8月27日(月)午前
開催場所 イオンモール名古屋みなと スプリングコート
愛知県名古屋市港区品川町2-1-6

- 展示内容
- 戦後及び現在の愛知・三重県の海図(複写)
 - 伊能大図彩色図(国土地理院提供)
 - 3D海底地形図
 - 津波シミュレーションマップ
 - 海洋情報業務紹介パネル 等

25日及び26日は海上保安庁イメージキャラクター「うみまる」が登場します。



連絡先
第四管区海上保安本部
海洋情報部監理課
名古屋市港区入船2-3-12
電話 052(661)1611

水路記念日について

「水路記念日」とは、海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局創立の日です。

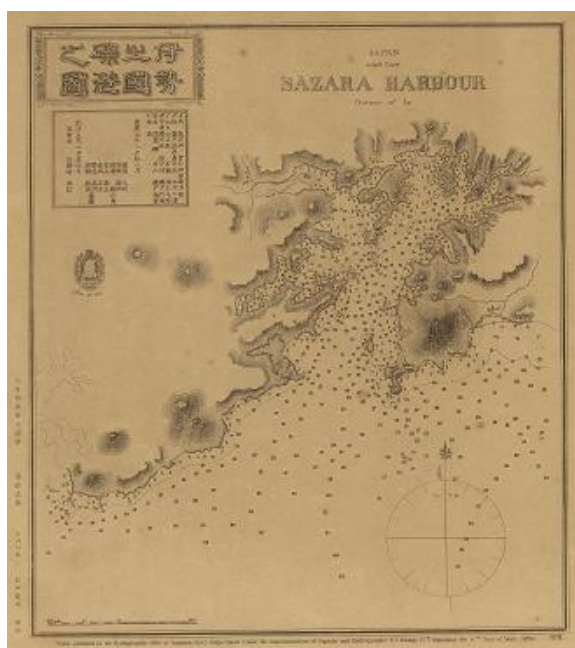
明治2年(1869年)8月に兵部省が設置され、明治3年3月には兵部省の下に海軍掛と陸軍掛の分課が設けられました。

明治4年(1871年)7月28日に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、海軍部に第1秘書局、第2軍務局、第3造船局、第4水路局(水路局)、第5会計局の5つの局が置かれました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命とした水路局が初めて誕生しました。

明治初期、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩(現三重県)出身の初代水路局長 柳樽悦(やなぎならよし)(右写真)は「水路事業の一切は海員的精神に依り、徹頭徹尾外国人を雇用せず自力を以て、外国の學術技芸を選択利用し、改良進歩を期すべし」を大方針として、日本人のみでの測量を精力的に推進しました。



柳樽悦(やなぎ ならよし、1832-1891)
津藩士、初代水路局長・部長、貴族院議員、大日本水産名誉会員。



「伊勢之國礪(さざら)港之図」

わが国における近代的な海図の第1号は、明治5年9月(旧暦8月)に完成した「陸中国釜石港之図」です。

愛知県・三重県に関する最も古いものとしては、「伊勢之國礪(さざら)港之図」(1873年(明治6年)9月刊行(左図))があり、これは三重県五ヶ所湾の海図で1862年からの幕府海軍の測量によるもので、のちの初代水路部長柳樽悦(当時は津藩士)らにより行われ海図が作成されました。

昭和26年(1951年)に海上保安庁が水路局の誕生した7月28日を水路部の創立の日として制定しましたが、昭和46年(1971年)の水路部創立100周年を期して、明治初期に用いられていた太陰暦(旧暦)の7月28日を現在使用されている太陽暦に換算した9月12日を水路部の創立の日として「水路記念日」を制定しました。

海上保安庁海洋情報部 ～誕生から現在までの変遷～

海上保安庁海洋情報部は、兵部省海軍部水路局として設置されて以降、所属省庁が移り変わってきました。移り変わりの中で、観象台業務の移管が行われ、天文関係は文部省へ、気象関係は内務省へ移管されています。

明治	4年	(1871年)	9月12日 (旧暦7月28日)	兵部省海軍部水路局
"	5年	(1872年)	4月5日 (旧暦2月28日)	海軍省水路局
"	5年	(1872年)	11月13日 (旧暦10月13日)	海軍省水路寮
"	9年	(1876年)	9月1日	海軍省水路局
"	19年	(1886年)	1月29日	海軍水路部 (海軍省外局となる)
"	21年	(1888年)	6月27日	水路部 (海軍冠称廃止)
昭和	20年	(1945年)	11月29日	水路部 (運輸省外局となる)
"	23年	(1948年)	5月1日	海上保安庁水路局 (海上保安庁の内部機関となる)
"	24年	(1949年)	6月1日	海上保安庁水路部
平成	14年	(2002年)	4月1日	海上保安庁海洋情報部 (現在に至る)

【問い合わせ先】

総務部総務課

広報・地域連携室長 生田 保隆

電話 052-661-1611（内線 2111）



平成 30 年 7 月 27 日
第四管区海上保安本部

イベント中止のお知らせ

J E T T Y において特別展示を実施します

平成 30 年 7 月 20 日に第四管区海上保安本部から下記のとおり広報を実施したイベントにつきましては、台風 12 号接近の状況等を勘案し、中止となりましたのでご連絡いたします。

記

中止するイベントについて

1 広報件名

J E T T Y において特別展示を実施します

2 予定していた日時、場所

平成 30 年 7 月 28 日（土）、29 日（日） 午前 11 時～午後 4 時

ジエテイ
J E T T Y（広場及び 2 階展示ブース）【名古屋市港区港町 1-7】

以上



海上保安制度創設 70 周年



* 参考



平成 30 年 7 月 20 日
第四管区海上保安本部

【問い合わせ先】

総務部総務課

広報・地域連携室長 生田 保隆

電話 052-661-1611 (内線 2111)

J E T T Y において特別展示を実施します

第四管区海上保安本部では、海上保安制度創設 70 周年及び灯台 150 周年記念事業の一環として、平成 30 年 7 月 28 日、29 日の間、名古屋港にある J E T T Y においてブースを設置します。

海上保安庁の業務紹介パネルや 3 D 海底地形図などを展示するほか、制服の試着体験や操船シミュレータでの操船体験など、来場者に楽しんでいただける催し物となっております。

1 日時

平成 30 年 7 月 28 日 (土)、29 日 (日) 午前 11 時～午後 4 時

2 場所

ジェティ
J E T T Y (広場及び 2 階展示ブース) 【名古屋市港区港町 1-7】



* 参考

3 イベント内容

展示等：パネル（業務等の説明及び巡視船艇・航空機の写真）、3D海底地形図、顔出しパネル、潜水士ウエットスーツ、当庁PRビデオ上映

体験：海上保安庁制服試着、操船シミュレータ、灯台輪投げ

配布：パンフレット、ペーパークラフト、ノベルティグッズ

その他：海上保安庁イメージキャラクター「うみまる・うーみん」との記念撮影



【問い合わせ先】
交通部安全対策課
安全対策課長 奥村 和彦
電話 052-661-1611（内線 2640）



平成 30 年 7 月 27 日
第四管区海上保安本部

釣りインストラクターに対する救命胴衣着用効果体験 中止のお知らせ

平成 30 年 7 月 17 日に第四管区海上保安本部から下記のとおり広報を
いたしました。台風の 12 号接近の状況等を勘案し、中止となりましたの
でご連絡いたします。

記

- 1 広報件名
「釣りインストラクターに対する救命胴衣着用効果体験の実施について」
～最悪に備える～
- 2 日時、場所
平成 30 年 7 月 29 日（日） 午前 9 時 30 分～午前 11 時
名古屋市港区東築地町 28 番地 2 名古屋海上保安部船艇基地

以上



* 参考

【問い合わせ先】

交通部安全対策課

安全対策課長 奥村 和彦

電話 052-661-1611（内線 2640）



平成30年7月17日
第四管区海上保安本部

釣りインストラクターに対する救命胴衣着用効果体験の実施について
～最悪に備える～

第四管区海上保安本部は、愛知県の釣りインストラクターの方々に協力し、海中での救命胴衣の着用効果等を体験していただきます。

1 概要

第四管区海上保安本部管内（愛知県・三重県）における釣り人による海中転落事故は今年6月末現在、6件で、うち死者は3人となっています。

一般社団法人全日本釣り団体協議会・愛知県釣りインストラクター連絡機構では、会員の釣りインストラクターに対して海中転落した際の救命胴衣の浮力等着用の効果を経験させることで、一般の釣り人への安全講習の際に役立てたいとしており、当本部はこれに協力し、救命胴衣の取扱い等の講習とインストラクターの皆様実際に海中に入っただき、その着用効果を体験していただくこととしています。

2 日時

平成30年7月29日（日）09:30～11:00

3 場所

名古屋市港区東築地町 28 番地 2
名古屋海上保安部船艇基地
（別図参照）

4 その他

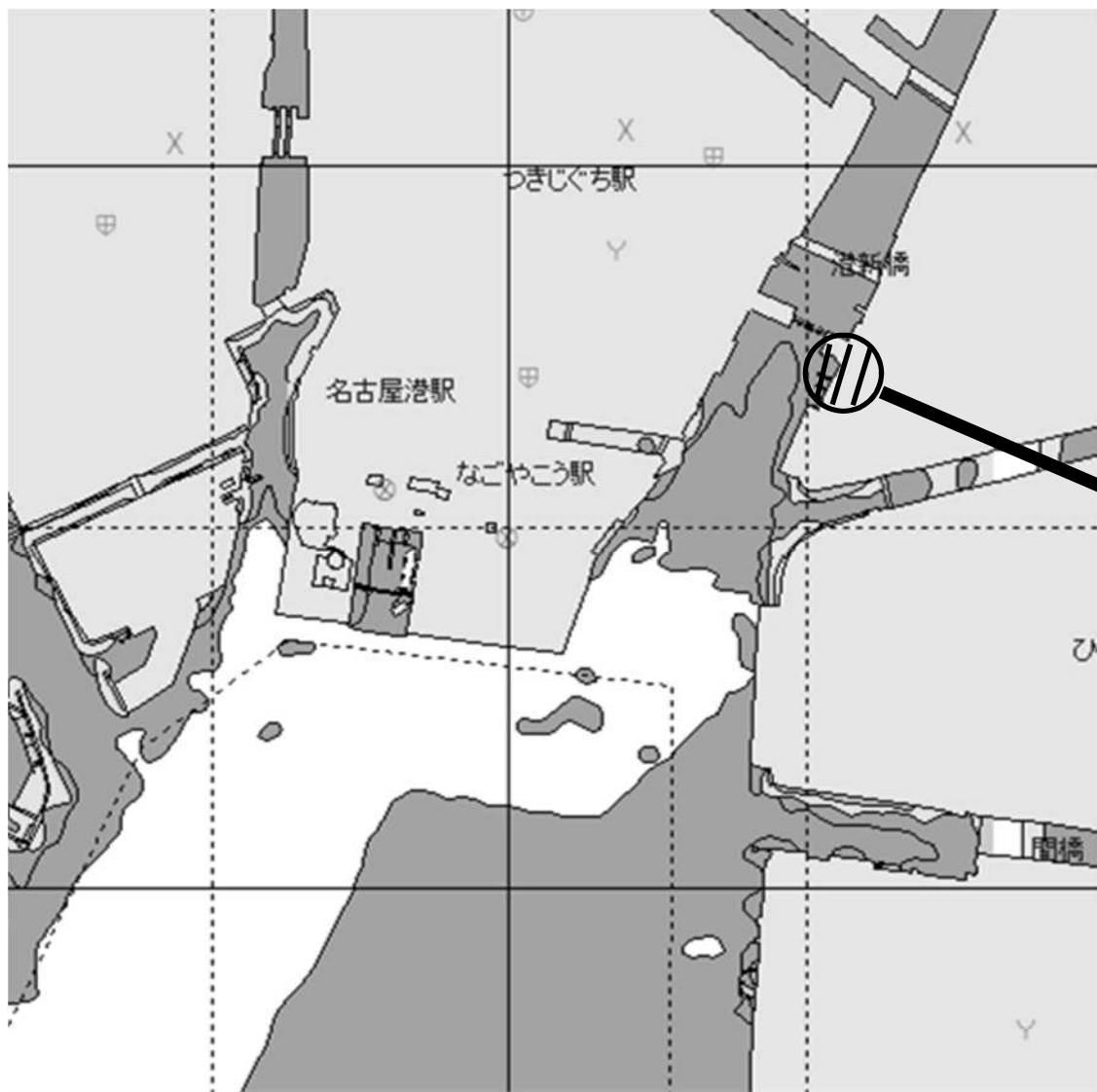
取材を希望される社は、7月26日（木）までに別紙「取材参加申込書」により当本部交通部安全対策課までご連絡頂きますようお願い致します。



海上保安制度創設70周年



別図：救命胴衣着用体験実施場所(名古屋海上保安部船艇基地)



【別紙】

「釣りインストラクターに対する救命胴衣着用効果の体験」

取材参加申込書

御社名

ご芳名

ご連絡先

※お手数ですが、取材に来られる方全員のお名前の記入をお願いいたします。

FAX送付先：052-652-1473

締め切り：7月26日（木）午後1時まで

【問い合わせ先】

交通部安全対策課

安全対策課長 奥村 和彦

電話 052-661-1611（内線 2640）



平成 30 年 7 月 27 日
第四管区海上保安本部

平成 30 年 6 月の船舶海難・人身海難発生状況（速報）

1 船舶海難

(1) 6月の船舶海難は14隻で、そのうち船舶事故は13隻、インシデントは1隻でした。

なお、船舶事故による死者・行方不明者の発生はありませんでした（前年同月0人）。

(2) 船舶事故の船種別は、プレジャーボートが5隻、漁船が4隻、貨物船が3隻、その他が1隻となっています。

事故種類別では、衝突及び運航不能がそれぞれ6隻、火災が1隻となっています。

なお、運航不能の内訳は、機関故障が5隻、無人漂流が1隻となっています。

(3) 船舶事故13隻のうち9隻が小型船舶でした。

漁船の事故では、漁場向け航行中に貨物船と衝突し転覆、乗船者1名が海に投げ出され付近漁船により救助されるといった事故などが発生しています。

また、貨物船の事故では、航行中に積荷のスクラップから白煙が発生し、巡視艇警戒のもと岸壁に着岸させ消火活動を行うといった事故などが発生しています。

(4) 今年6月までの船舶事故の累計は56隻となっています。

2 人身海難

(1) 6月の人身海難は15人で、そのうち人身事故は6人、その他の人身に係るトラブルは9人でした。

なお、人身事故による死者・行方不明者は0人でした（前年同月3人）。

(2) 人身事故の内訳は、マリンレジャーに伴う海浜事故1人、乗船者の人身事故が5人となっています。

(3) マリンレジャーに伴う海浜事故では、トライアスロンのスイム競技中に溺水する事故が発生しています。

また、乗船者の人身事故では、漁業者が定置網の撤去作業中に、誤って指を負傷する事故などが発生しています。

(4) 今年6月までの人身事故の累計は44人となっています。



海上保安制度創設70周年

